

# 情報リテラシー教育は大学図書館 のコア・コンピタンスたりうるか？

千葉大学附属図書館

尾城 孝一

[ojiro@ll.chiba-u.ac.jp](mailto:ojiro@ll.chiba-u.ac.jp)

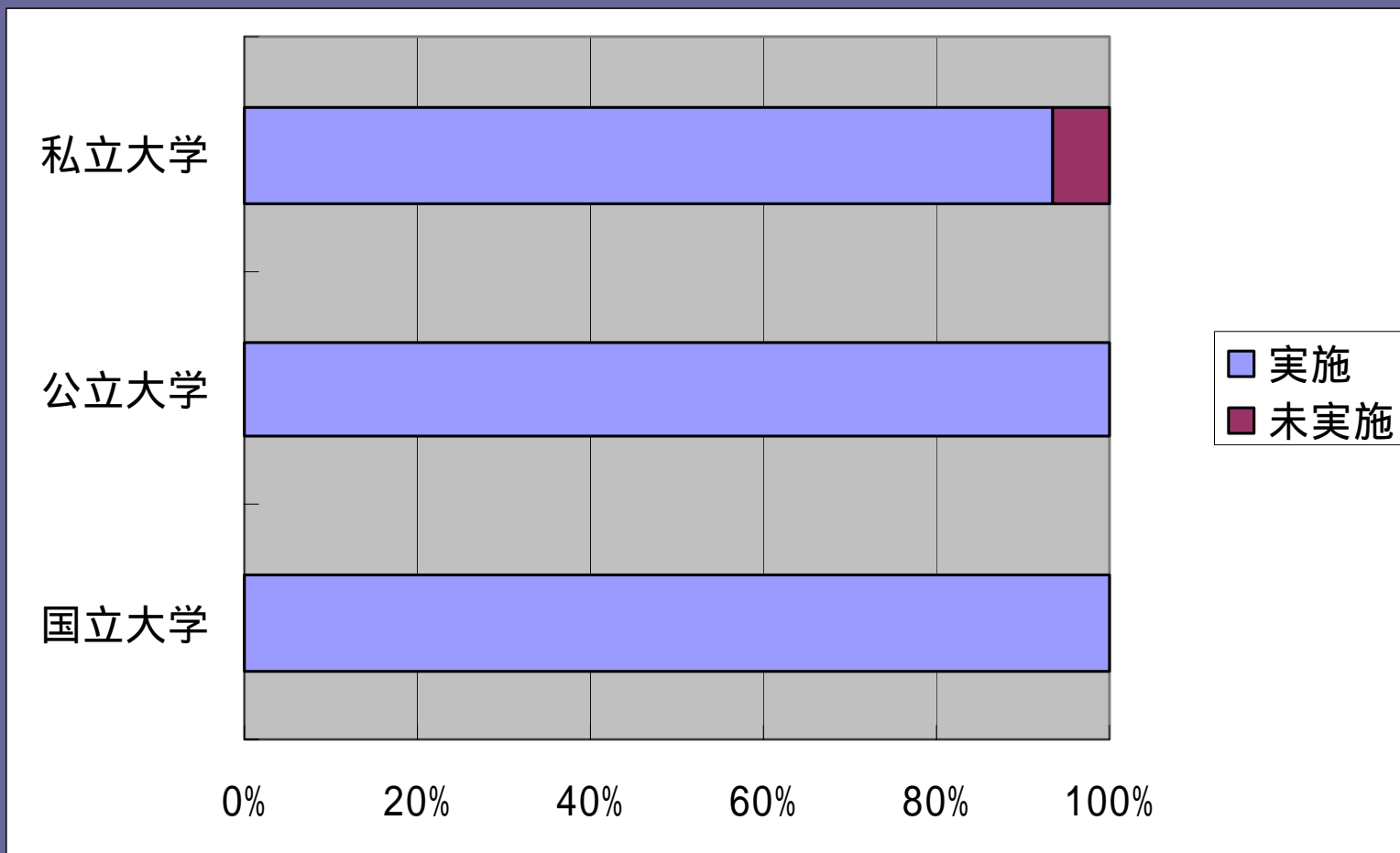
# コア・コンピタンスとは

- コア・コンピタンス
  - 「企業が競合他社に対して圧倒的に優位にある事業分野や他社にはない独自の技術やノウハウを集積している中核となる部門やサービス」
  - アウトソーシングされない部門

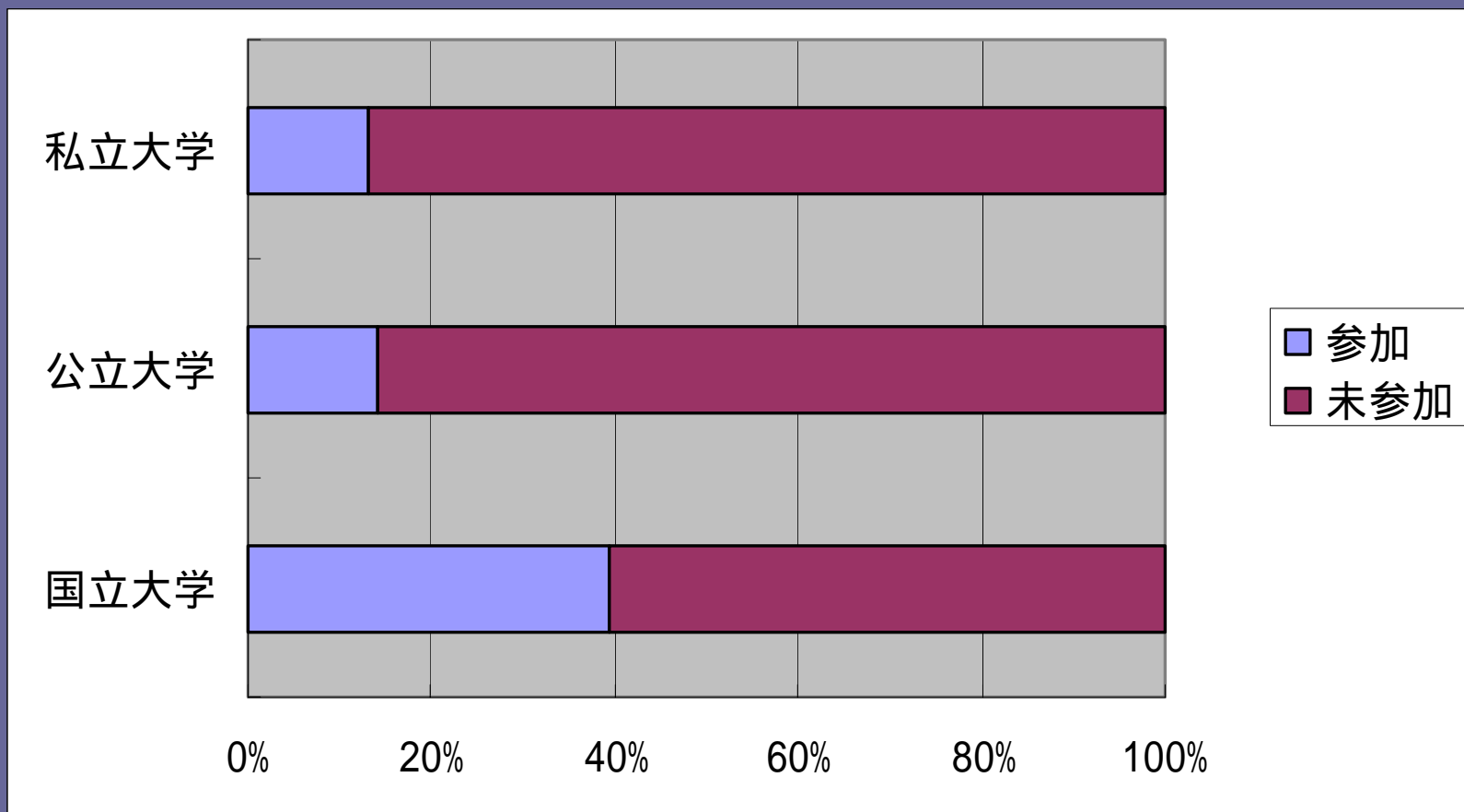
# 「大学・高専図書館における情報リテラシー教育」

- <http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/4479/>
- 平成12年度科学研究費補助金奨励研究(B)
- 橋洋平(金沢大学附属図書館)
- 平成12年7月から8月に実施
- 回収率73.4%

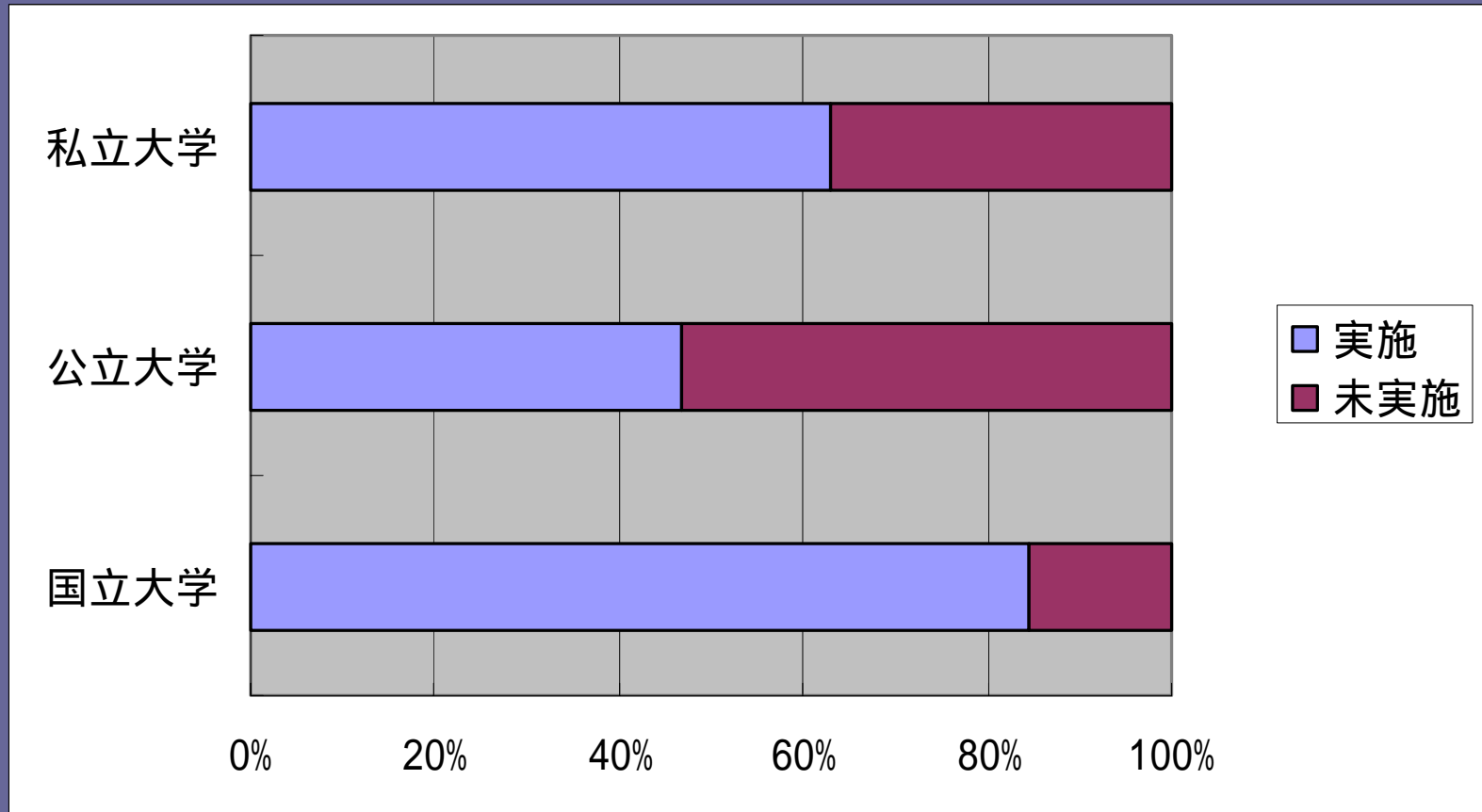
# 新入生オリエンテーションの実施率



# 情報リテラシー教育への参加率



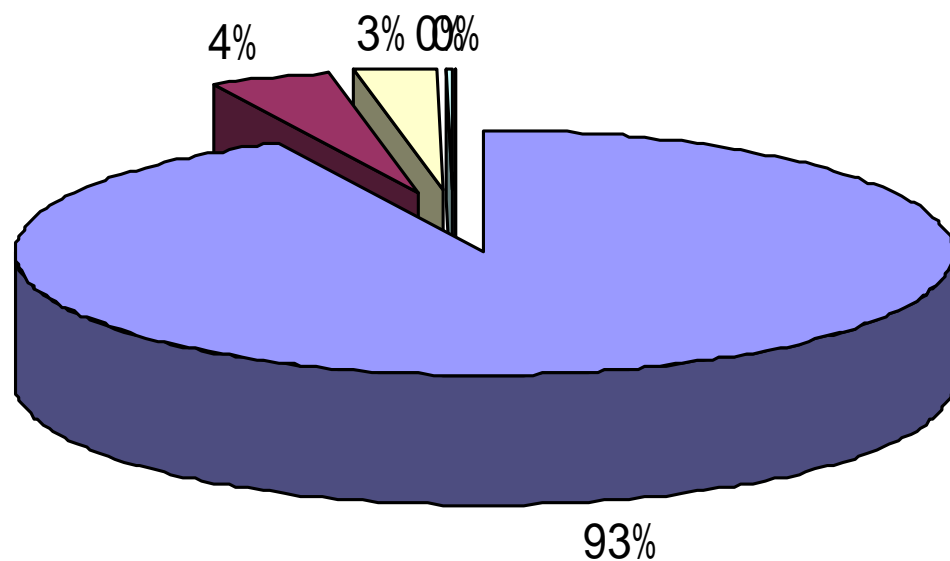
# その他の利用教育の実施率



# 「大学改革と大学図書館の学習・教育支援機能 - アンケート調査結果 -」

- <http://www.cl.aoyama.ac.jp/~tnozue/ugl/report.html>
- 大学図書館研究プロジェクト(代表:三浦逸雄)
- 学習・教育活動を支援する大学図書館サービスの実施状況
- 平成13年2月実施

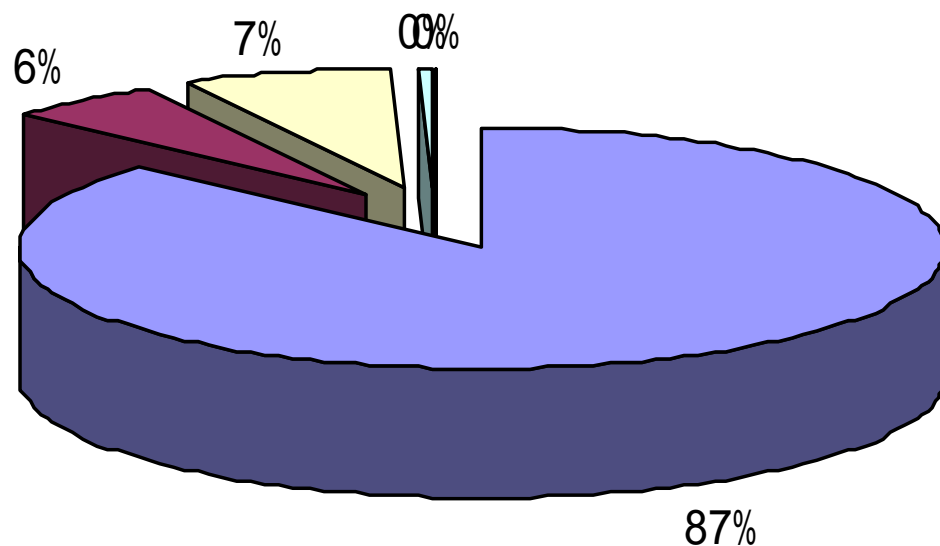
# 新入生オリエンテーション



■ 実施 ■ 計画中 ■ 実施予定なし ■ 無回答 ■ 無効

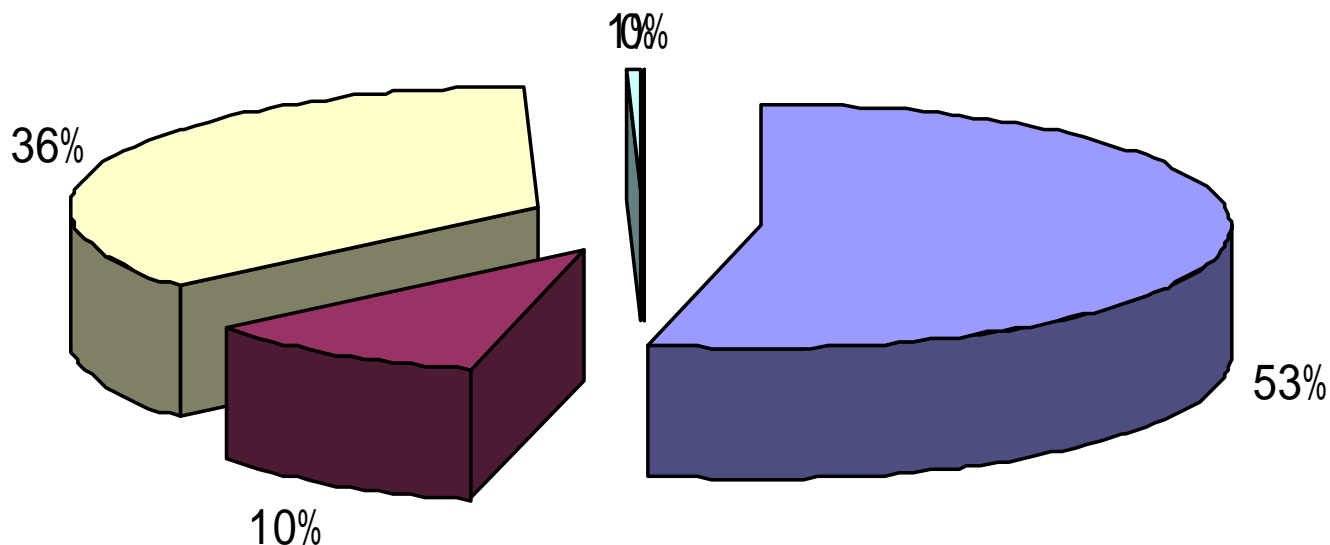


# 図書館内での文献利用教育



■ 実施 ■ 計画中 ■ 実施予定なし ■ 無回答 ■ 無効

# 授業における文献利用指導



■ 実施 ■ 計画中 ■ 実施予定なし ■ 無回答 ■ 無効

# 大学教育改革のながれ

- 大学教育改革のながれ
  - 大学設置基準の大綱化(1991年)
  - 大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革について」(1998年)
  - 大学審議会答申「グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について」(2000年)

# グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について(2000年)

- (情報リテラシーの向上)

- 「・・・大学教育においては、学生に、グローバルな広がり、主体的に情報を収集し、分析し、判断し、創作し、発信する能力を養うことが不可欠である。その際、情報モラルや、情報機器及び情報通信ネットワークの機能にかかわる基本的知識や能力の習得を重視することが必要である。」

# ハイブリッドライブラリにおける利用者 支援体制の必要性

- 図書館のハイブリッド化
  - 資料媒体のハイブリッド化
    - 紙媒体, 電子パッケージ(CD-ROM, DVD等), オンライン情報
  - 所在場所(ロケーション)のハイブリッド化
    - 物理的図書館(自館, 他館), ネットワーク(インターネット)
- 利用者教育から情報リテラシー教育への脱皮

# 大学図書館と情報リテラシー

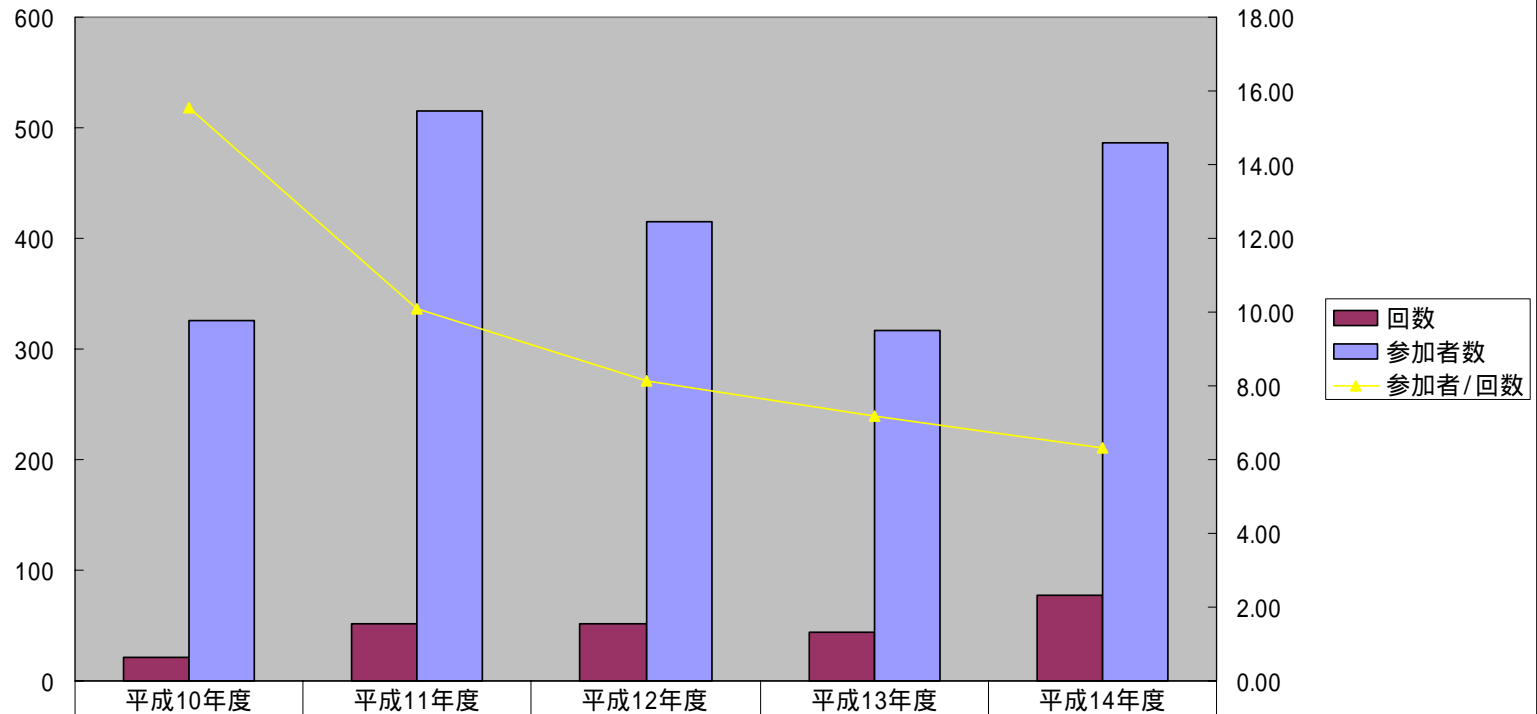
- 情報リテラシー「習得」の場
  - 図書館の教育的機能の一部として、情報リテラシーの習得、向上を支援する
- 情報リテラシー「実践」の場
  - 利用者が身につけた情報リテラシーを使って、情報を探索・利用・発信するための環境、基盤を提供する

# 「習得」の場

- 教育カリキュラムの限界
  - 個別の情報資源単位での講習会 業者派遣講師への依存
  - 利用者のニーズに对应していない？
- 図書館主催講習会の受講者数の停滞
  - 千葉大学での統計

# 千葉大学の統計

図書館主催ガイダンス



回数	21	51	51	44	77
参加者数	326	515	415	316	486
参加者/回数	15.52	10.10	8.14	7.18	6.31



# 「実践」の場

- 十分な環境を提供しているか？
- 資料
  - 横ばいの資料購入費，外国雑誌の値上げ，電子ジャーナルへの投資 学生図書購入費の減少
- 施設
  - 老朽化，狭隘化
- 人的サービス
  - 度重なる定員削減の影響

# 授業密着型リテラシー教育への移行

- 授業に沿った主題・トピック単位の講習会
- 意義
  - 受講の動機付け
  - 図書館サービスの向上
  - 図書館員の資質の向上
  - 図書館に対する評価
- 阻害要因
  - 図書館の「余力」不足
  - 学内での図書館員の地位, 位置づけ
  - 教員側の不安

# 担当者育成

- 電子ジャーナル利用者教育担当者研修会  
(国立大学図書館協議会・電子ジャーナルタスクフォース)
  - 平成13, 14年度実施
- 学術情報リテラシー担当者研修(国立情報学研究所)
  - 平成15年度から試行的に実施
- 情報リテラシーフォーラムの形成
  - HP, メーリングリスト

# ラーニングリソースセンターへの脱皮

- ワンストップの学習環境
  - 施設, PC, ネットワーク環境 + 資料(情報資源)
  - + ポータル機能 + 人的なサポート

# コア・コンピタンス化の要件

- 情報リテラシー教育を図書館の経営，政策上の重要な戦略として位置づけることが必要